

令和2年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

		採択地区名	安芸郡
種 目	発行者	採 択 理 由	
国 語	光村	<p>巻頭や単元の初めには、第2学年以上の学年で同一の「学習の進め方」が示されている。学年が変わっても同じように学習を進めていくことが視覚的に表され、見通しをもって学習を進める手立てとなっている。また、単元の終わりの「たいせつ」には、学習したことの要点や生活の中で生かす場面がまとめられており、巻末の「学習を広げよう」に、「たいせつ」で示された言葉による見方・考え方がどのような場面で生かせるかを考え記述できるようになっている。さらに、情報の扱い方に関する事項では、情報収集や活用の仕方について、QRコードを活用した説明コンテンツや学びの定着を図る練習問題等、具体的に学ぶ工夫がなされている。</p>	
書 写	光村	<p>姿勢、点画の書き方、用具の扱い方等が具体的に示されている。点画の書き方では、穂先の動きとともに、筆の止め方や動かし方を細やかに示しており、基礎・基本の定着を図るための記述がある。巻頭には「学習の進め方」を示し、主体的に学習に取り組む工夫として、話し合い活動や要点を記述した「たいせつ」を確かめる場面を設けている。また、国語を中心とした他教科や日常生活との関わりについても、一つの単元として取り入れたり、単元末で紹介したりする等、日常生活に生かす言語活動の工夫がなされている。</p>	
社 会	東書	<p>「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方とそれぞれの学習過程でどのようなことをするのかを示しており、主体的に学習に取り組むための構成上の工夫が見られる。また、第5学年は上巻と下巻、第6学年は「歴史編」と「政治・国際編」に分け、学習を効果的にすすめる構成になっている。さらに地域の自然災害、関係機関の協力に着目して、防災の活動を多面的・多角的に捉える手立てが示されている。</p>	
地 図	帝国	<p>方位、地図記号、距離と縮尺、土地の高さなど地図の見方について地図活用のポイントやその土地の様子等を紹介しているなどわかりやすく整理している。また、巻頭と巻末には世界地図と日本地図が両面6ページにわたって掲載され、世界地図の周りにはイラストを活用して世界の挨拶の言葉を紹介するなど興味・関心を高める工夫が見られる。さらに、日本のおもな都市の気温と降水量を雨温図で示しているなど資料活用に工夫が見られ、思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。</p>	

算 数	東書	単元の始めに課題意識をもたせ、児童が興味・関心をもち探求的に取り組むことができるような構成になっており、自ら学び、自らが考える力を育むことができる。また、説明したり話し合ったりする活動において、児童の思考の流れに沿って問いを細かく分けて示されており、活動を通して児童が数学的な見方・考え方を働かせるように工夫がなされている。さらに、自分や他者の考え、感想等を表現させるノート指導例を活用することで、より充実した言語活動が展開できる。
理 科	東書	活用を意識した問題を設定し、学習したことを既習事項とつなげながら解決していくための工夫がなされており、基礎・基本の定着を図ることにつながっている。また、児童の思考の流れに沿うように単元や資料が配列され、本時の終わりには次時の課題発見を促す構成になっていることにより、児童が課題意識をもって主体的に学習に取り組むことにもつながる。さらに、イラスト・写真・図表等の表し方に工夫がなされ、大きさや鮮やかさが他社より優れており、対象物の細部まで見るができる。
生 活	東書	スタートカリキュラムに合わせた「どきどきわくわく1ねんせい」は、写真で示され、児童や保護者が安心して入門期を過ごせるよう幼児期との接続を意識した内容の構成である。また、観察カードは、学習段階に合わせた例示があり、1学年で書き方やポイントが分かりやすく示されることにより、観察の仕方が習得でき課題発見・解決学習につながる。さらに、多様な表現方法で伝え合う活動が繰り返しあり、深い学びにつながる工夫がなされている。
音 楽	教芸	視覚的な工夫による楽譜の見やすさや歌いやすさがあり、歌唱の基礎・基本の定着を図ることができる。また、器楽（リコーダー）の扱いでは、学習する音の順番が、児童にとって吹きやすく、学びやすい順番となっているとともに、具体的な練習方法も示され、児童が考えながら、意欲的に取り組める内容となっている。さらに、打楽器による音楽づくりでは、音楽的な見方・考え方を働かせる内容が示され、音の特長を生かした音楽をつくるための工夫がなされている。
図画工作	日文	見開きで一つの題材が示され、児童が目標を掴み手順等を習得しやすい。また、題材ごとの具体例が多様で、興味関心を高めるための工夫があり、主体的な学びにつながる。さらに、材料や用具の取り扱い等の定着を図るための説明が適切かつ分かりやすく示してあり、安全に留意することができる。

家 庭	東書	<p>基礎的・基本的な知識・技能を「できたかな」の囲みで確認するとともに、巻末の「いつも確かめよう」で繰り返し確認できるものとなっている。また、家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として、すべての大題材のタイトルの横に示し、生活を見つめるときの視点を明確にしている。さらに、「活動1」「活動2」「活動3」のマークが示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が、児童の思考の流れに沿って仕組んであり、学習を深めていく工夫がなされている。</p>
保 健	学研	<p>課題解決的な学びのサイクルと1時間の学習で学ぶことが明確にされており、児童は見通しをもち、主体的に学習を進めることができる。また、「心の健康」では、いじめを含む不安や悩みへの対処法をスクールカウンセラーの助言を基に、自分事として思考・判断できるようにしている。さらに、発展的な学習では、「がんの起こり方」や「がんの予防」等、イラストやQ&amp;A方式によるがん教育に関する内容があり、中学校の学習につながるようになっている。</p>
英 語	東書	<p>各単元では、見開きページに4つの領域を扱った活動が示されており、QRコードを活用して児童が興味・関心を高める工夫がなされているとともに、基礎的・基本的な力の定着を図ることができる。また、「話すこと（やり取り）」の手順や伝え合うためのポイントが分かりやすく示されていることで、言語活動の充実につながっている。さらに2学年共通した別冊資料「Picture Dictionary」により、単語や重要な対話文について確認したり調べたりすることができ、主体的な学習につながる工夫がなされている。</p>
道 徳	東書	<p>巻頭には、1年間の学習内容や学び方等が分かりやすく適切に示されており、児童にとって、学ぶ意義や学習のイメージをもちやすく、考え議論する道徳の学習を進める工夫がなされている。また、全学年にQRコードが掲載されており、教材の内容に関する動画を見ることにより、授業のねらいに迫ることができる。さらに、効果的に学習指導を進めることができる内容の構成や分量となっている。</p>